

---

## ネットワークゾーンのユーザーの一元管理

---

### Note

共同ネットワークに関するオンラインヘルプページへのリンクについては、「[コラボレーションネットワーク](#)」を参照してください。

---

ネットワークゾーンでユーザーを管理し、必要に応じて、メンバー機関に配布できます。（共同ネットワークについては、「[共同ネットワークでのユーザーのリンク](#)」を参照してください。）

メンバー機関のユーザーレコードは、次のような場合に必要に応じてネットワークゾーンから自動的に取得されます：

- ユーザーに貸し出すとき
- ユーザーにリクエストするとき
- ユーザーが外部IdPを使用してログインするとき
- ユーザーを検索して機関ゾーンにコピーするとき

ネットワークゾーンのユーザーは、次のプロセスで更新できます：

- 更新またはユーザーに通知するジョブを使用する。
- APIを使用する。
- SISは、ネットワークゾーン機関で1回実行できます。
- ユーザー編集フォームでユーザーを手動で更新する

これらすべてのケースで、ユーザーレコードは、ユーザーレコードが存在するすべての機関ゾーンメンバー（つまり、以前ネットワークゾーンから引き出されたメンバー）で更新されます。

上記のプロセスでは、各メンバー機関の既存のレコードはアップデートされますが、メンバー機関に存在しないユーザーの新しいレコードは作成されません。

この更新が行われると、すべてのネットワークゾーンのユーザーデータは、ネットワークゾーンユーザーにリンクされたローカルレコードを持つメンバー機関に配信されます。これにはユーザーブロックが含まれ、役職、プロキシ、および統計は除外されます。メンバー機関に追加されたローカルデータ（たとえば、内部として追加された電話番号、Eメール、またはメモ）は上書きされません。利用者がディスカバリーからデータを更新した場合、ローカルデータを更新し、ネットワークゾーンには反映されません。

---

### Note

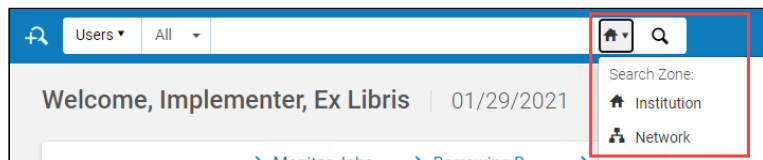
ネットワークゾーンのユーザーに内部または外部として追加された情報は、外部として機関ゾーンに配信され（ネットワークゾーンによって機関ゾーンの外で管理されているため）、将来のアップデートによって上書きされます。

---

リンクアカウントでは、ある機関がユーザーレコードを「所有」し、他の機関はこのメインレコードにリンクされていて、そのレコードに対する更新情報を得ることができますが、異なる機関で一元管理されているユーザーレコードはすべて同じレベルにあります。つまり、ネットワークゾーンからコピーされたすべてのユーザーレコードは、ネットワークゾ

ーンユーザーレコードに直接リンクされ、更新された場合は、ネットワークゾーンのユーザーから更新情報を得ます。

配信されていないユーザー(ネットワークゾーンのユーザー)を見つけるには、ネットワークスコープを使用してメンバー機関で検索できます。



## Alma 検索

ネットワークゾーンで外部ユーザーを一元管理する場合、Ex Librisのカスタマーサポートにお問い合わせください。

### Note

ユーザーがネットワークゾーンから削除されても、既に作成されている機関ゾーンからは削除されませんが、他の機関ゾーンはネットワークゾーンからユーザーをコピーできなくなります。

## 機関ゾーンユーザーをネットワークゾーンユーザーにリンクする

ユーザーがネットワークゾーンとは別に機関ゾーンに読み込まれることがあります(例えば、移行作業中など)。機関ゾーンのユーザーをネットワークゾーンのユーザーにリンクするジョブを実行することができます。このジョブでは、機関ゾーンユーザーとネットワークゾーンユーザーの一致を試行し、一致した場合にはユーザーをリンクして、機関ゾーンのユーザーがネットワークゾーンのユーザーに対して行われる今後の変更によりアップデートされるようにします。ネットワークゾーンと機関ゾーンのレコードが確実にリンクされるように、このジョブをネットワークゾーンとしてスケジュールすることをお勧めします。スケジュールのオプションは、ネットワークゾーンのメニュー [設定 > ユーザー管理 > 全般 > ユーザージョブ設定](#) から利用できます。

### Note

ユーザーをリンクするプロセスでは、大文字と小文字が区別されます。リンク処理中に的確に一致することのなかった同じユーザーの複数のインスタンスが存在する場合があります。例えば、「Carlos」と「carlos」です。

## メンバー機関でのユーザー追加

たとえば、セントラルレコードがまだネットワークゾーンにロードされていないユーザーの場合、メンバー機関に新しいユーザーを登録し、そのレコードをネットワークゾーンにプッシュすることができます。

メンバー機関のユーザーを追加するには：

- ユーザーサービスの管理 ページ (フルフィルメント > チェックアウト/チェックイン > ユーザーサービスの管理) で、新規ユーザーの登録を選択し、外部ユーザーとしてユーザーを追加します。

このユーザーはネットワークゾーンで更新され、ネットワークゾーンと機関ゾーンのユーザーはリンクされているので、ネットワークゾーンのユーザーが更新されると機関ゾーンのユーザーにも反映されます。機関ゾーンからネットワーク

ーンへの、ユーザーの初期作成後の更新はありません。このユーザーを適切な識別子で追加することが重要です。これにより、SISがネットワークゾーン内のユーザーを更新するときに、ユーザーが一致して更新されます。

---

## ネットワークゾーンで管理者アカウントを一元管理

特定のユーザーをネットワークゾーンからすべてのメンバー機関に配信できます。これにより、ネットワークはネットワークゾーンで管理者アカウントを管理できます。

特定のユーザーをネットワークゾーンからすべてのメンバー機関に配信するには：

- ユーザーの検索と管理ページ(アドミン > ユーザー管理 > ユーザーの検索と管理)で、ユーザーの行アクションリストから **配布** を選択して確認ボックスで **確認** を選択します。
- または、ユーザーの編集時にユーザーの詳細ページの上部で保存して **配布** を選択します。

ユーザーは、ネットワーク内のメンバー機関に配布されます。

---

### Note

ネットワークゾーンに特定のユーザーを配布する場合、そのユーザーは管理者アカウントとして配布され、IZ間で同期するためにユーザーロールを更新することも含まれます。これは、上記の両方の方法に適用されます。

---

---

## ネットワークゾーンのフルフィルメントネットワーク内のユーザーIDの共有

ネットワークゾーン内のフルフィルメントネットワークでは、ユーザーがネットワークゾーン内で一元管理されていない場合、A機関の利用者がB機関に入ってくると、利用者の活動を管理する最初のステップとして、A機関から利用者の情報が取得されます。Almaのデフォルト動作では、各ユーザーのIDフィールド(学生ID、バーコードなど)は、機関間で一意ではありません。これらの識別子は、他の機関からコピーされません。(Almaは、機関間のユーザーIDを追跡するための内部フィールドを保持しています)。機関Aが「プライマリ」ユーザーの記録を維持し、ユーザーが機関Bでサービスを受領するたびに機関Bの記録が更新されます。

また、ユーザー識別子がコンソーシアム内のすべての機関で一意である場合、Ex Librisはフルフィルメントネットワーク内のすべての機関でユーザー識別子が同一であるように設定することができる。例えば、あるフルフィルメントネットワーク機関で構成済みの指定のユーザー名が、他の機関でそのユーザーのために作成されたリンク済みレコードに自動で構成されるように、フルフィルメントネットワークを構成することができます。これを構成すると、ユーザーはすべてのネットワーク機関に等しく「所属」します。「プライマリ」レコードは存在せず、ユーザーのレコードを保持している最初の機関からユーザーが更新されることはなく、すべての機関がユーザーのネットワーク活動を見ることができます(構成されている場合)。

---

### Note

同じIDを使用して複数の機関の学生を識別する場合は、これらのIDがすべてのメンバー機関で一意であることを確認してください。

---

これらの設定を有効にしたり、設定後に変更するには、Ex Librisのサポートに連絡してください。「[フルフィルメントネットワークでのユーザーのリンク](#)」も参照してください。